



(参考仮訳)

プレスリリース No. 11/393
即時解禁
2011年11月2日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

クリスティーヌ・ラガルド IMF 専務理事による、ギリシャに関する声明

国際通貨基金 (IMF) のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は本日、フランスのカンヌにて以下の声明を発表した。

「ギリシャの債務負担の大幅な削減、および意欲的な新規プログラムに対する追加的金融支援などを掲げた先週のユーロ圏首脳会議での合意は、ギリシャの成長の回復と雇用の創出を助けるなど、同国にとり非常に有益であると引き続き確信している。

先日発表された国民投票は、ユーロ圏サミットでの合意事項の迅速な実施に向け、可能な限り早期に行うとしたギリシャ首相の表明を歓迎する。

国民投票が終了しあらゆる不透明感が払拭されたならば、速やかに、IMF 理事会に対し、ギリシャの経済プログラムを支える IMF 融資の 6 次トランシュについて、提言を行う予定である」